

附件 三 Nippon Recycle Center Corp. 简介

人が活かす稀少金属
富陽金属株式会社

本社
〒530-0047 大阪府住吉区東 8丁目3-18
TEL.06-6311-2800 FAX.06-6311-0949

和歌山支店
〒555-0001 大阪府和歌山市東 6丁目 10-89
TEL.06-6474-0033 FAX.06-6475-2007

岐阜支店
〒535-0041 大阪府豊中市東中島 2丁目 9-141
TEL.06-6478-5021 FAX.06-6478-5039

資源・環境の未来のために
日本リサイクルセンター株式会社

本社
〒530-0047 大阪府住吉区東 8丁目3-18
TEL.06-6311-2071 FAX.06-6311-0949

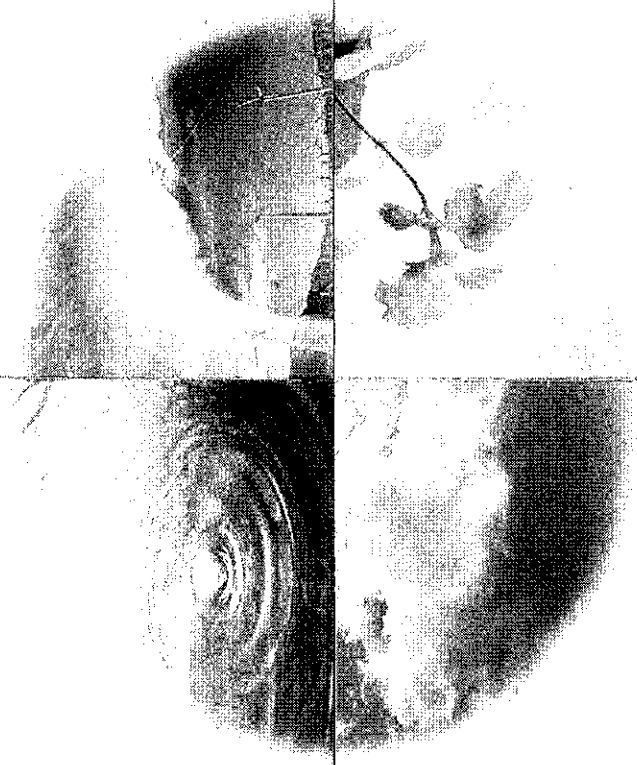
和歌山支店
〒555-0001 大阪府和歌山市東 6丁目 10-89
TEL.06-6474-0033 FAX.06-6475-2007

中部支店
〒535-0041 大阪府豊中市東中島 2丁目 9-141
TEL.06-6478-5021 FAX.06-6478-5039

横浜支店
〒104-0032 東京都中央区銀座 4丁目 3-32
TEL.06-6481-7771 FAX.06-6464-7772

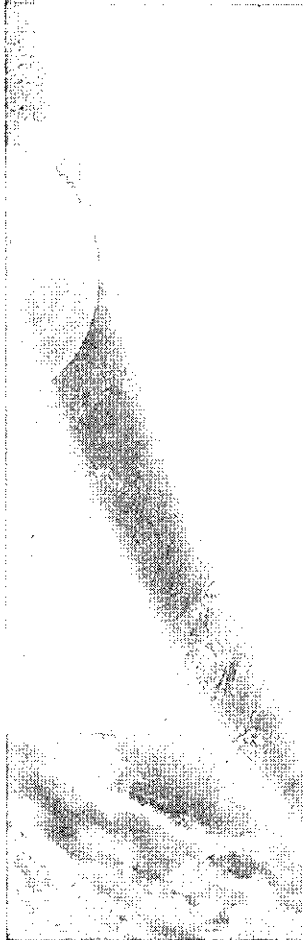
神戸支店
〒601-0011 兵庫県神戸市東灘区 1-35
TEL.0632-41-0917 FAX.0632-41-0917

福岡支店
〒801-0601 福岡県福岡市東区 37-1
TEL.022-344-7406 FAX.022-344-7589



人が活かす稀少金属
富陽金属株式会社
http://www.fuyometal.co.jp

資源・環境の未来のために
日本リサイクルセンター株式会社
http://www.recycle21.co.jp



【企業理念】

技術と創造力をもって、人、資源、環境の調和を追求し、社会の発展に貢献し続ける。

「暮らしに活かす金属から、生かし続ける金属へ」
 私たちは地球環境の保全のために、
 これからも限りある「希少金属」の有効活用を考えていきます。

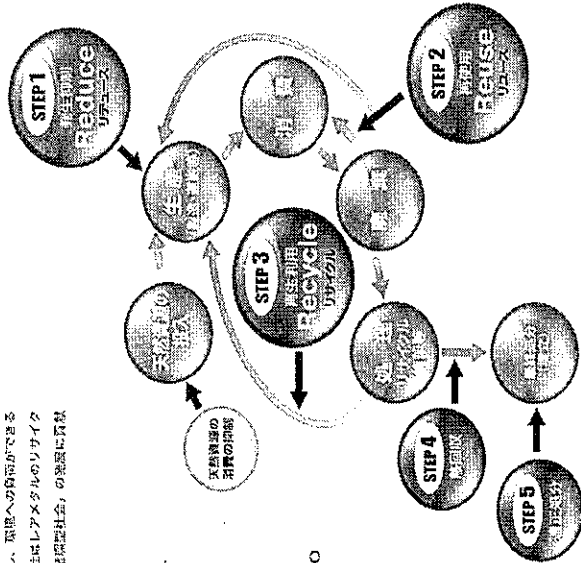
希少資源の有効活用

レアメタル（希少金属）とは非鉄金属のうち、世界的に産出量が限られ、産出量も少ない金属のことを指し、具体的にはニッケル、コバルト、クロム、タングステン等といった希少な資源が該当します。レアメタルは、半導体やモニターなどの電子材料、医療機器や航空機などの金属材料として使われるほか、電池の材料や石油化学の原料材として利用されるなど、様々な用途に用いられ、私たちの暮らしを支える上で非常に重要な役割を果たしています。しかしその一方で、一部利用されたレアメタルが大量に廃棄され、再生されないまま捨てられてしまっていることも少なくありません。当社ではそのような非利用の廃棄物が残っているレアメタルの加工・処置を中心とした資源を巡って、限りある資源の有効活用を最優先に推進しています。



循環型社会の発展を目指して

日本では、循環型社会の発展を目的として2001年に「資源の有効な利用の促進に関する法律」（題称：リサイクル法）が改正・改定されました。循環型社会とは、減正（3R (Reduce, Reuse, Recycle)）と廃材により新たな製品が資源の消費を抑制し、資源への負担ができる限り軽減される社会のことを指します。当社はレアメタルのリサイクルを中心とした資源循環を推進して、この「循環型社会」の発展に貢献していきます。



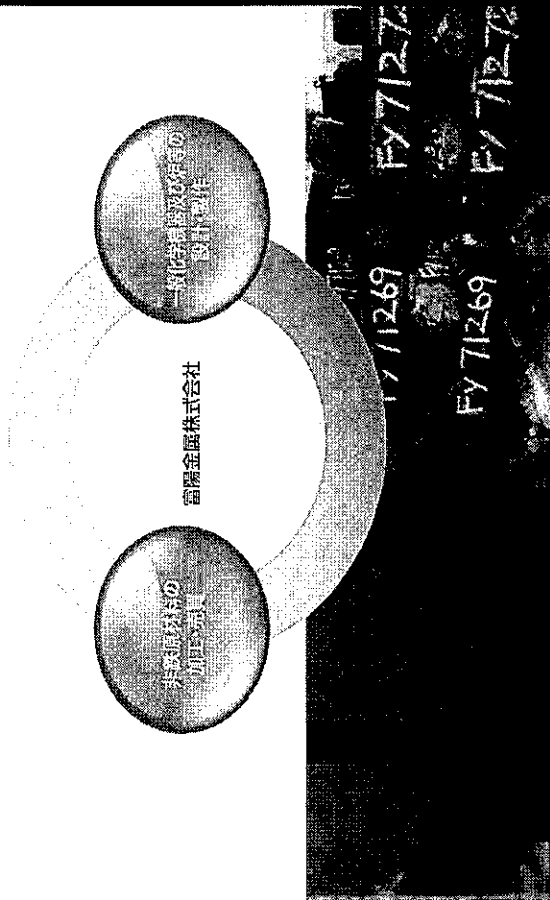
環境活動

「資源循環株式会社」と「日本リサイクルセンター株式会社」は、2002年に兵庫県においてISO14001：1996の認証を取得し、運用を始め、2006年にISO14001：2004の認証を得、申請段階無効にまで進捗し、また、2010年に同認証を更新申請期間において取得しました。希少金属の加工・資源循環と希少金属の回収・リサイクル事業を行う上で、地球環境への負荷の低減を目指して、環境管理システムを構築し、積極的に環境活動を推進しています。



資源循環株式会社
 〒650-0001 兵庫県神戸市東灘区
 中央1-1-1
 ISO14001 認証取得
 JAB CM008
 環境管理システム構築
 積極的に環境活動を推進しています。

非鉄原材料、特殊鋼原材料のリサイクルを通じて
限られた資源であるレアメタルの未来を見つめていきます。



当社は1934年に輸入品のニッケルメタルやスランレス鋼塊取り返り輸入商品としてスタートし、戦後は鋼原料のレアメタル取扱いに主力を置いて事業活動を展開してまいりました。1956年に現在の富陽金属株式会社へと改組して以来は、自社のフェロニッケル(50%ニッケル低インピュアリティ)を加工、販売し、専門知識や経験を活かして積極的に金属の精錬化に取り組み続けています。現在は、稀少金属を主とした非鉄原料体の増産をはじめとして、各種原料を配合したフェロニッケルの加工等、あらゆるニーズにお応えしています。また近年の需要とノウハウを生かして、「炭化学機械や機の設計・製作も数多く手がけており、多くのお客様からご好評を頂いています。

会社概要
 資本金：1956年(昭和31年)5月23日
 資本金：2,400万円
 代表取締役：野田 洋次
 従業員数：17名

営業内容
 ●ニッケル・フェロニッケル、コバルト・モリブデン・タンタム・タングステン、チタム・タングステン、銅、銀、その他特殊原料の加工・販売
 ●スランレス鋼・フェロニッケル・その他特殊原料の加工・販売
 ●一般化学機械及びその設計・製作

沿革
 1934年(昭和9年) 9月 創業
 1951年(昭和26年) 9月 富陽金属株式会社設立
 1956年(昭和31年) 1月 日本冶金工業株式会社 鋼造付特設
 1956年(昭和31年) 5月 富陽金属株式会社設立
 1956年(昭和31年) 11月 富陽金属株式会社にて
 富陽金属工業株式会社を設立
 1957年(昭和32年) 2月 本社ビル完成
 1960年(昭和35年) 3月 社名変更(富陽金属工業株式会社)
 1970年(昭和45年) 3月 社名変更(富陽金属株式会社) 股数1000株
 1970年(昭和45年) 11月 日本リサイクルセンターに設立
 1983年(昭和58年) 5月 本社ビル新築竣工
 1983年(昭和58年) 5月 本社ビル新築竣工
 1983年(昭和58年) 5月 本社ビル新築竣工
 1983年(昭和58年) 5月 本社ビル新築竣工
 2003年(平成15年) 3月 新築工場(約1,000㎡)完成
 2005年(平成17年) 1月 中東事業開始

ホームページ
<http://www.toyometal.co.jp>

本社
 〒550-0047 大阪市淀川区東中島6丁目5-10
 TEL 06-6311-2503 FAX 06-6311-0949

福野工場
 〒559-0001 大阪市東淀川区長田6丁目10-36
 TEL 06-6474-0053 FAX 06-6475-2607

中島事業部
 〒555-0041 大阪市淀川区中島2丁目5-141
 TEL 06-6478-5021 FAX 06-6478-5030

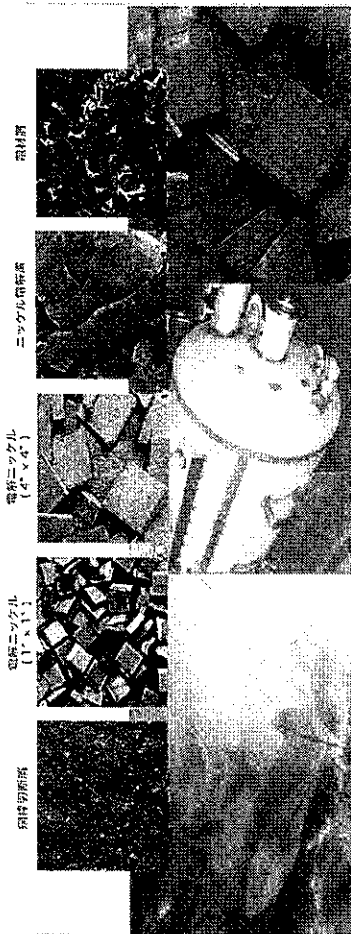
主要取引先
 三菱重工業株式会社
 三菱自動車株式会社
 三菱商事株式会社
 丸善株式会社
 精工技研株式会社
 本島製作所

原材料革命に挑む信頼の技術 複雑な原料の配合によるフェロニッケルの加工

非鉄原材料の加工・売買

当社は、モリブデン、コバルト、ニッケル、コバルト、モリブデン、タンガステン、チタン、金、銀等、多量で需要を認められているレアメタルの加工・売買を行なっています。また新しい合金の開発や新たな用途の開発など、無精算にも対応し、多くの顧客を上げています。

国産資源である金銀は資源価格が大きく左右されます。そのため価格とノウハウを生かした高純度の原料・配合技術が必要となります。当社は原料に対して適切な品質管理を厳格に実施し、複雑な原料の配合、フェロニッケルの加工をはじめ、あらゆるニーズに対応しています。



原料貯蔵所

電解ニッケル
(100kg)

電解ニッケル
(100kg)

ニッケル電解液

原料所

ニーズに的確に応える独自のノウハウ ステンレスやチタン、特殊鋼を使用した特殊機器や炉等の設計・製作

一般化学機器及び炉等の設計・製作

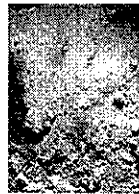
当社は、自社設備に備える設計及び製作を社内で行なっています。そこで培われた経験と、製作にわたる設備の準備から作られたノウハウを生かして、ステンレス、チタン、その他特殊鋼を使用した特殊、超合金、特殊鋼製機器や炉等の設計・製作の承取を行っています。非常に高い品質を誇る当社の製品は多くのお客様からご好評を頂いています。

当社はステンレス二次市場であるため、リサイクル率を高めることが可能です。多くの顧客の協力会社とのネットワークがあることから、輸送や製品へのニーズについて迅速に対応をすることが可能です。

ブリケット加工・乾燥処理

当社は、多くのご要望にお応えして、「ブリケット加工」や「乾燥処理」といった原材料の加工も行なっています。

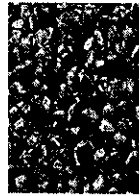
ブリケット加工



原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。



原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。



原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。



原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。



原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。



原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。



原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。



原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

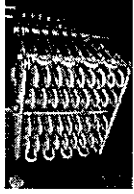


原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。



原料貯蔵所
原料貯蔵所にて配合調整を厳密にし、製造します。

製造については、一般化学機器をはじめとして、真空炉等の製作やポンプケーシングといった工業製品の製作に資するまで、あらゆるお客様のニーズにお応えすることが可能です。また、原料に
ついては当社で貯蔵することによって、より安定な供給が
可能で一度お問い合わせください。

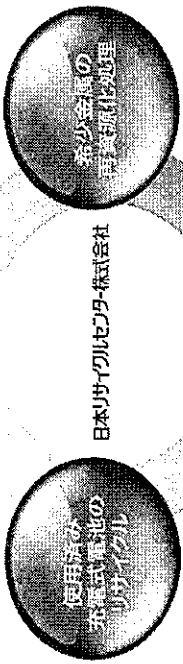




資源・環境の未来のために

日本リサイクルセンター株式会社

私たちは「地球環境の保全」と「循環型社会の構築」を目指して
これらもレアメタルの有効活用に貢献していきます。



現代社会においては、レアメタルを有する充電式電池や携帯電話などから回収・処理されることなく捨てられてしまふことが多くあります。そのようにして捨てられた充電式電池の中には含まれる有用な資源の量は「都市鉱山」と呼ばれ、そこに含まれるレアメタルの量は鋼鉄生産量の約10%に相当するといわれています。例えば、1tの廃石から約10～20kgのニッケルしか採れるとしても、充電式電池1tから200～350kgのニッケルとアルミを回収することができ、さらには銅やコバルト、白金も回収することが可能なのです。
私どもはこれからの地球環境のために、これらの有用な資源をただ消費するばかりではなく、リサイクルして有効に活用し、循環型社会で次世代へ有効に活用していくことを目指してまいります。

会社概要

設立: 1976年(昭和51年)11月18日
資本金: 5,000万円
代表取締役: 菊田洋次
従業員数: 60名

- 営業内容
- 各種再生資源、資源再生処理
 - 再生資源材料、高純度金属およびその加工品の売買
 - 再生資源の再生加工
 - 再生資源の再生加工 (LISCより取得済)

年 次	業 績
1976年(昭和51年)11月 設立	社団法人資源再生センター(株)設立
1977年(昭和52年)10月	再生資源センターと統合
1977年(昭和52年)4月	再生資源センターと統合
1978年(昭和53年)2月	再生資源センターと統合
1979年(昭和54年)6月	再生資源センターと統合
1984年(昭和59年)10月	再生資源センターと統合
1985年(昭和60年)2月	再生資源センターと統合
1986年(昭和61年)3月	再生資源センターと統合
1987年(昭和62年)4月	再生資源センターと統合
1988年(昭和63年)5月	再生資源センターと統合
1989年(昭和64年)6月	再生資源センターと統合
1990年(昭和65年)7月	再生資源センターと統合
1991年(昭和66年)8月	再生資源センターと統合
1992年(昭和67年)9月	再生資源センターと統合
1993年(昭和68年)10月	再生資源センターと統合
1994年(昭和69年)11月	再生資源センターと統合
1995年(昭和70年)12月	再生資源センターと統合
1996年(昭和71年)1月	再生資源センターと統合
1997年(昭和72年)2月	再生資源センターと統合
1998年(昭和73年)3月	再生資源センターと統合
1999年(昭和74年)4月	再生資源センターと統合
2000年(昭和75年)5月	再生資源センターと統合
2001年(昭和76年)6月	再生資源センターと統合
2002年(昭和77年)7月	再生資源センターと統合
2003年(昭和78年)8月	再生資源センターと統合
2004年(昭和79年)9月	再生資源センターと統合
2005年(平成17年)10月	再生資源センターと統合
2006年(平成18年)11月	再生資源センターと統合
2007年(平成19年)12月	再生資源センターと統合
2008年(平成20年)1月	再生資源センターと統合
2009年(平成21年)2月	再生資源センターと統合
2010年(平成22年)3月	再生資源センターと統合
2011年(平成23年)4月	再生資源センターと統合
2012年(平成24年)5月	再生資源センターと統合
2013年(平成25年)6月	再生資源センターと統合
2014年(平成26年)7月	再生資源センターと統合
2015年(平成27年)8月	再生資源センターと統合
2016年(平成28年)9月	再生資源センターと統合
2017年(平成29年)10月	再生資源センターと統合
2018年(平成30年)11月	再生資源センターと統合
2019年(令和元年)12月	再生資源センターと統合
2020年(令和2年)1月	再生資源センターと統合
2021年(令和3年)2月	再生資源センターと統合
2022年(令和4年)3月	再生資源センターと統合
2023年(令和5年)4月	再生資源センターと統合
2024年(令和6年)5月	再生資源センターと統合
2025年(令和7年)6月	再生資源センターと統合
2026年(令和8年)7月	再生資源センターと統合
2027年(令和9年)8月	再生資源センターと統合
2028年(令和10年)9月	再生資源センターと統合
2029年(令和11年)10月	再生資源センターと統合
2030年(令和12年)11月	再生資源センターと統合
2031年(令和13年)12月	再生資源センターと統合
2032年(令和14年)1月	再生資源センターと統合
2033年(令和15年)2月	再生資源センターと統合
2034年(令和16年)3月	再生資源センターと統合
2035年(令和17年)4月	再生資源センターと統合
2036年(令和18年)5月	再生資源センターと統合
2037年(令和19年)6月	再生資源センターと統合
2038年(令和20年)7月	再生資源センターと統合
2039年(令和21年)8月	再生資源センターと統合
2040年(令和22年)9月	再生資源センターと統合
2041年(令和23年)10月	再生資源センターと統合
2042年(令和24年)11月	再生資源センターと統合
2043年(令和25年)12月	再生資源センターと統合
2044年(令和26年)1月	再生資源センターと統合
2045年(令和27年)2月	再生資源センターと統合
2046年(令和28年)3月	再生資源センターと統合
2047年(令和29年)4月	再生資源センターと統合
2048年(令和30年)5月	再生資源センターと統合
2049年(令和31年)6月	再生資源センターと統合
2050年(令和32年)7月	再生資源センターと統合
2051年(令和33年)8月	再生資源センターと統合
2052年(令和34年)9月	再生資源センターと統合
2053年(令和35年)10月	再生資源センターと統合
2054年(令和36年)11月	再生資源センターと統合
2055年(令和37年)12月	再生資源センターと統合
2056年(令和38年)1月	再生資源センターと統合
2057年(令和39年)2月	再生資源センターと統合
2058年(令和40年)3月	再生資源センターと統合
2059年(令和41年)4月	再生資源センターと統合
2060年(令和42年)5月	再生資源センターと統合
2061年(令和43年)6月	再生資源センターと統合
2062年(令和44年)7月	再生資源センターと統合
2063年(令和45年)8月	再生資源センターと統合
2064年(令和46年)9月	再生資源センターと統合
2065年(令和47年)10月	再生資源センターと統合
2066年(令和48年)11月	再生資源センターと統合
2067年(令和49年)12月	再生資源センターと統合
2068年(令和50年)1月	再生資源センターと統合
2069年(令和51年)2月	再生資源センターと統合
2070年(令和52年)3月	再生資源センターと統合
2071年(令和53年)4月	再生資源センターと統合
2072年(令和54年)5月	再生資源センターと統合
2073年(令和55年)6月	再生資源センターと統合
2074年(令和56年)7月	再生資源センターと統合
2075年(令和57年)8月	再生資源センターと統合
2076年(令和58年)9月	再生資源センターと統合
2077年(令和59年)10月	再生資源センターと統合
2078年(令和60年)11月	再生資源センターと統合
2079年(令和61年)12月	再生資源センターと統合
2080年(令和62年)1月	再生資源センターと統合
2081年(令和63年)2月	再生資源センターと統合
2082年(令和64年)3月	再生資源センターと統合
2083年(令和65年)4月	再生資源センターと統合
2084年(令和66年)5月	再生資源センターと統合
2085年(令和67年)6月	再生資源センターと統合
2086年(令和68年)7月	再生資源センターと統合
2087年(令和69年)8月	再生資源センターと統合
2088年(令和70年)9月	再生資源センターと統合
2089年(令和71年)10月	再生資源センターと統合
2090年(令和72年)11月	再生資源センターと統合
2091年(令和73年)12月	再生資源センターと統合
2092年(令和74年)1月	再生資源センターと統合
2093年(令和75年)2月	再生資源センターと統合
2094年(令和76年)3月	再生資源センターと統合
2095年(令和77年)4月	再生資源センターと統合
2096年(令和78年)5月	再生資源センターと統合
2097年(令和79年)6月	再生資源センターと統合
2098年(令和80年)7月	再生資源センターと統合
2099年(令和81年)8月	再生資源センターと統合
2100年(令和82年)9月	再生資源センターと統合

本社

〒630-0047 大分県中津市東町6丁目3-19
TEL 08-6331-9971 FAX 08-6331-0949

関東支店

〒255-8501 大塚市東町1丁目10-39
TEL 03-6474-0959 FAX 03-6475-2607

関西支店

〒545-8501 大阪市東区東町4丁目4番1号
TEL 06-6475-0921 FAX 06-6475-0921

中部支店

〒500-0041 大分県中津市東町6丁目3-19
TEL 08-6331-9971 FAX 08-6331-0949

北陸支店

〒920-0041 石川県金沢市東町6丁目3-19
TEL 076-233-9971 FAX 076-233-0949

九州支店

〒810-0041 福岡県福岡市東区東町6丁目3-19
TEL 092-233-9971 FAX 092-233-0949

海外支店

〒545-8501 大阪市東区東町4丁目4番1号
TEL 06-6475-0921 FAX 06-6475-0921

支店

〒545-8501 大阪市東区東町4丁目4番1号
TEL 06-6475-0921 FAX 06-6475-0921

支店

〒545-8501 大阪市東区東町4丁目4番1号
TEL 06-6475-0921 FAX 06-6475-0921

支店

〒545-8501 大阪市東区東町4丁目4番1号
TEL 06-6475-0921 FAX 06-6475-0921

支店

〒545-8501 大阪市東区東町4丁目4番1号
TEL 06-6475-0921 FAX 06-6475-0921

支店

〒545-8501 大阪市東区東町4丁目4番1号
TEL 06-6475-0921 FAX 06-6475-0921

支店

〒545-8501 大阪市東区東町4丁目4番1号
TEL 06-6475-0921 FAX 06-6475-0921

支店

〒545-8501 大阪市東区東町4丁目4番1号
TEL 06-6475-0921 FAX 06-6475-0921

支店

〒545-8501 大阪市東区東町4丁目4番1号
TEL 06-6475-0921 FAX 06-6475-0921

